



2026年3月期 第3四半期
決算説明資料

株式会社fonfun（東証スタンダード：2323）

2026年2月13日

株式会社 fonfun

1 26年3月期 第3四半期業績

2 M&A戦略 DXロールアップの進捗

3 新中期経営計画の進捗

4 会社情報

新中期経営計画

プロジェクトフェニックス

2026年3月期

DXを中心とするテックカンパニーへ

組織

エンジニア数

100人

財務

時価総額

100億円

事業・投資

新規の中核事業の創出

連結売上 20億円
EBITDA 4億円

M&A実行により
100名達成

2026年1月30日
100億円到達

連結業績予想
達成見込

2026年3月期 第3四半期業績

1 26年3月期 第3四半期業績

2 M&A戦略 DXロールアップの進捗

3 新中期経営計画の進捗

4 会社情報

2026年3月期 第3四半期業績 決算ハイライト

第3四半期に1件のM&Aを実行 クラウド・DXの両セグメント事業拡大、エンジニア組織100名規模の目標達成

売上高 1,401 百万円	調整後営業利益(EBITDA) 324 百万円	営業利益 195 百万円	経常利益 231 百万円	当期純利益 254 百万円
対前期比率 163.5%	対前期比率 201.9%	対前期比率 218.9%	対前期比率 217.8%	対前期比率 332.0%

事業面

クラウドソリューション(SaaS・プロダクト事業)、DXソリューション(開発・技術派遣事業)、両セグメントとともにM&Aにより事業規模の拡充。買収後の統合プロセスを推進中。

財務面

純資産は前事業年度末より248百万円増
積極投資をしながらも自己資本比率44%の安定した財務基盤

※ 調整後営業利益(EBITDA) = 営業利益 + のれん償却費 + 顧客関連資産償却費 + 減価償却費 + 株式報酬費用

**第3四半期より連結会計へ移行
通期で売上20億円・EBITDA4億円超え、中期経営計画の目標を達成見込み**

(単位:百万円)	24年3月期3Q 単体実績	25年3月期3Q 単体実績	26年3月期3Q 連結実績	対前期比率	26年3月期 (連結業績予想)	業績進捗率
売上高	503	857	1,401	163.5%	2,101	66.7%
売上総利益	306	399	568	142.3%	--	--
販売管理費	255	310	373	120.4%	--	--
調整後営業利益 (EBITDA)	87	160	324	201.9%	446	72.6%
営業利益	51	89	195	218.9%	266	73.3%
経常利益	69	106	231	217.8%	300	77.0%
当期純利益	111	76	254	332.0%	326	78.0%
ROE	10.31%	17.34%	--	--	--	--

※ 第3四半期連結実績では、連結子会社マイクロウェーブデジタルの業績は12月分のみ計上しています。第4四半期より3か月分の業績を取り込みます。

※ 調整後営業利益(EBITDA) = 営業利益 + のれん償却費 + 顧客関連資産償却費 + 減価償却費 + 株式報酬費用 ROE = 当期純利益 / 株主資本

**積極投資を続けながらも自己資本比率44.1%
資本コストを意識した健全な財務体質を維持**

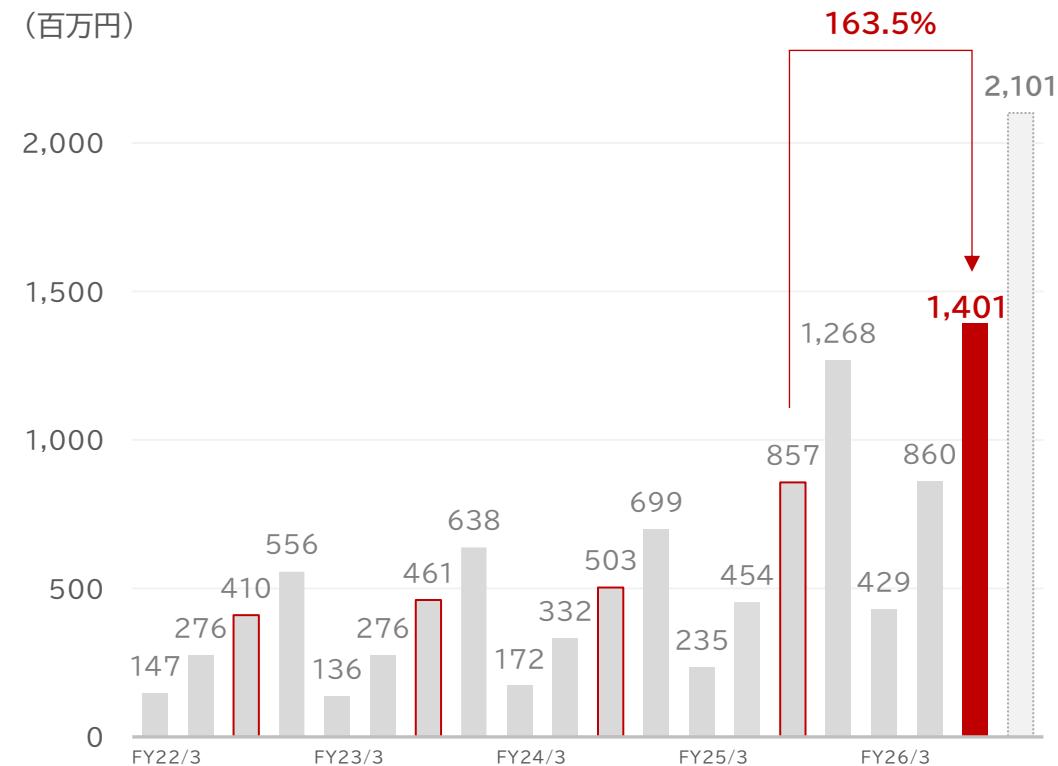
(単位:百万円)	24年3月期 単体実績	25年3月期 単体実績	26年3月期3Q 連結実績	(単位:百万円)	24年3月期 単体実績	25年3月期 単体実績	26年3月期3Q 連結実績
流動資産	813	938	1,056	流動負債	180	401	799
(内現預金)	(677)	(711)	(643)	固定負債	205	789	638
固定資産	195	1,210	1,587	負債合計	386	1,191	1,437
総資産	1,009	2,149	2,643	(内有利子負債)	(249)	(975)	(915)
				純資産	621	957	1,205
				1株あたり 純資産	30円87銭	44円54銭	55円54銭
				自己資本 比率	61.30%	43.5%	44.1%

※ 1株あたり純資産：前々事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

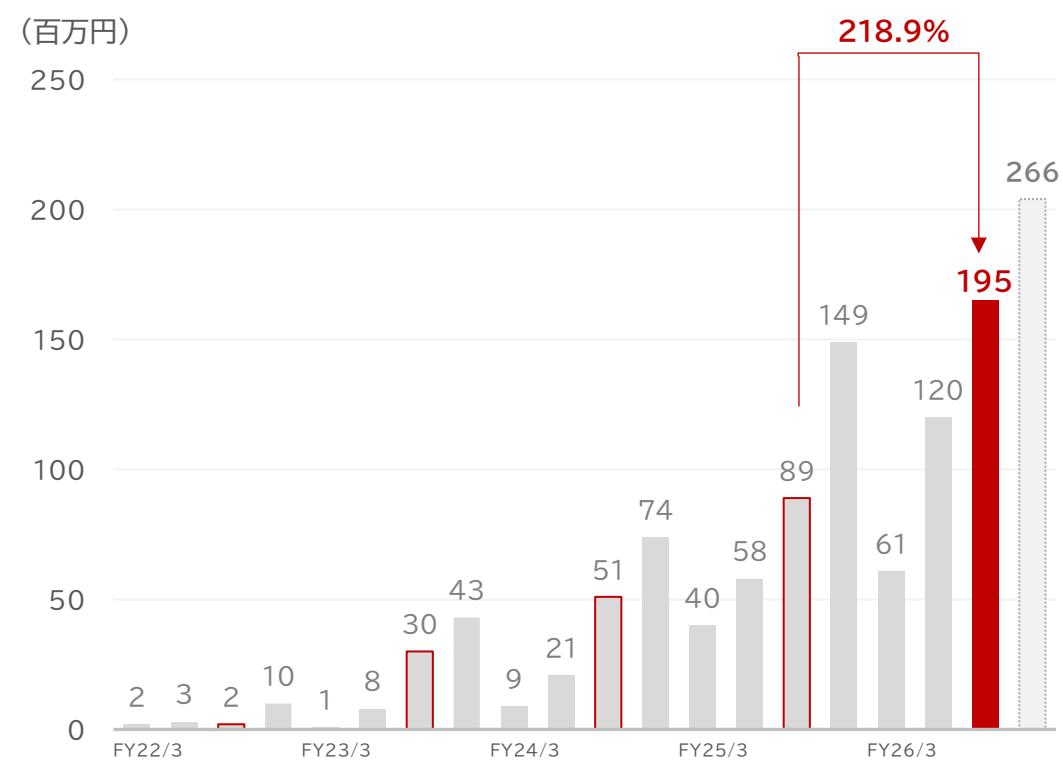
四半期別 業績推移(売上・営業利益)

第3四半期の売上高対前期比率163.5%、営業利益対前期比率218.9%

売上高推移(四半期)

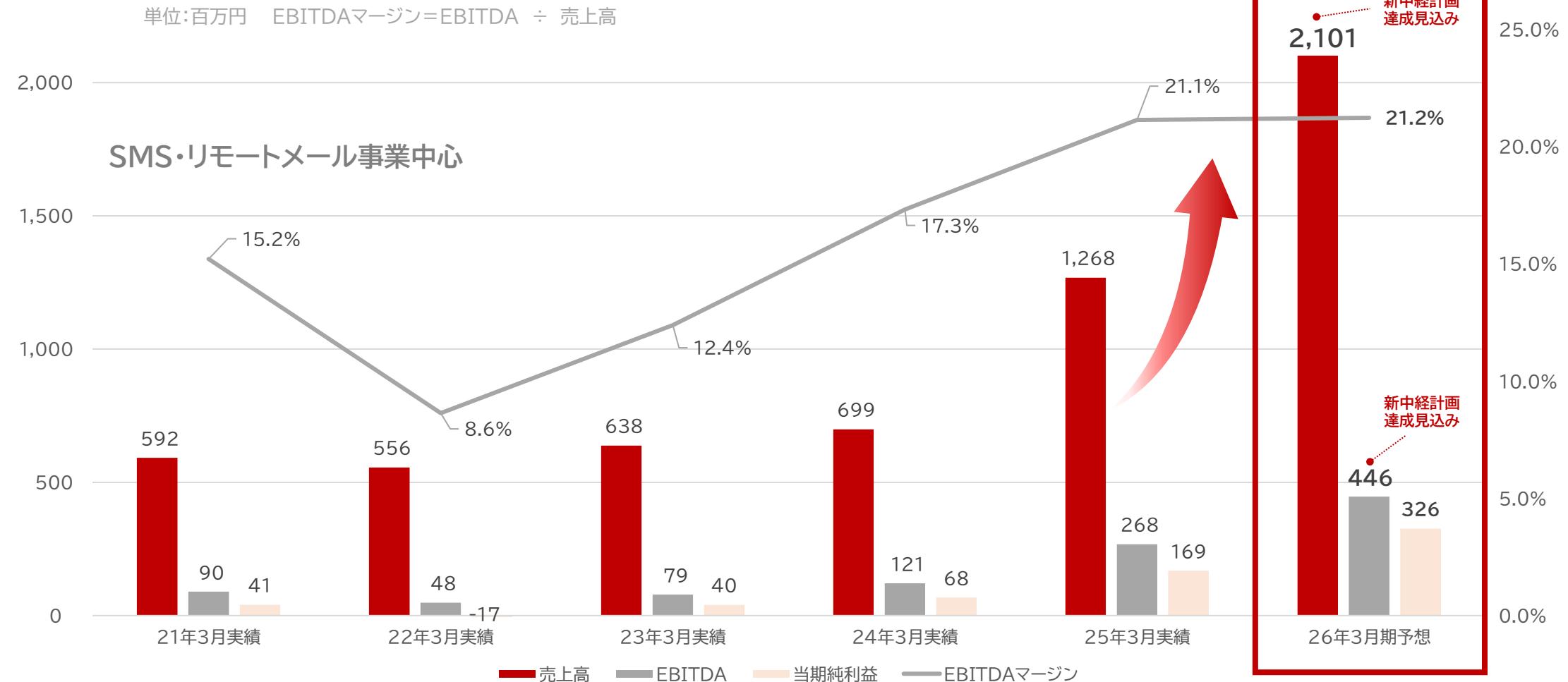


営業利益推移(四半期)



新中期経営計画の「事業・投資」の数値目標を達成見込み

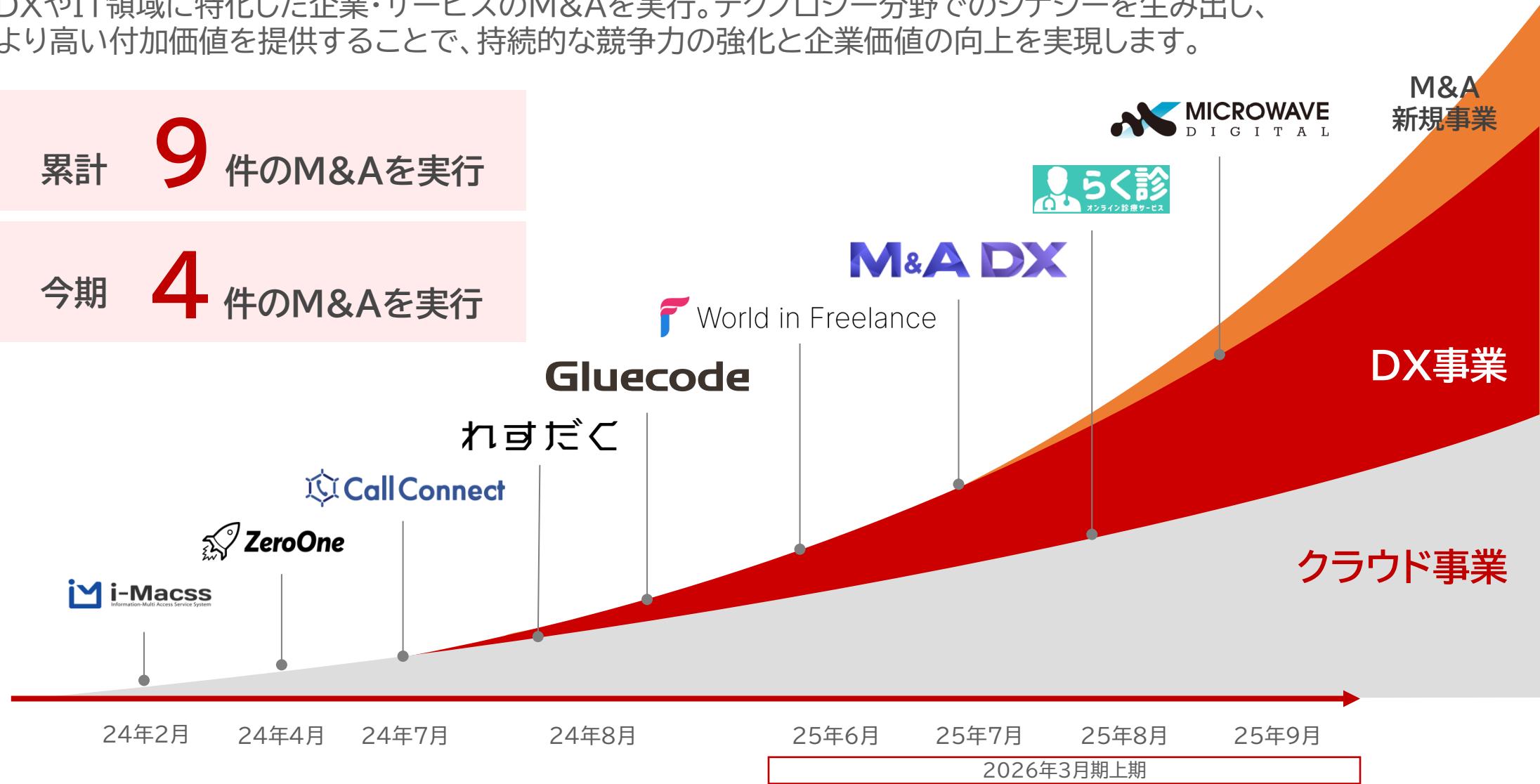
業績推移



M&A戦略 DXロールアップの進捗について

- 1 26年3月期 第3四半期業績
- 2 M&A戦略 DXロールアップ(進捗報告)
- 3 新中期経営計画の進捗
- 4 会社情報

DXやIT領域に特化した企業・サービスのM&Aを実行。テクノロジー分野でのシナジーを生み出し、より高い付加価値を提供することで、持続的な競争力の強化と企業価値の向上を実現します。



正社員を中心とした当社既存のSES事業に加えて、ITフリーランスマッチングを中心とする同事業を加えることで高まるDX需要に対応

社名	インバウンドテクロジー株式会社（設立:2024年2月）
所在地	東京都中央区築地2丁目10-2 JP-BASE築地駅前ビル8階
代表者	林 舟之輔
事業内容	フリーランスマッチング事業(本件譲受対象)、人材紹介業、訪日インバウンド事業
譲渡スキーム	事業譲受(フリーランスマッチング事業のみ)
譲受予定日	2025年6月1日
譲渡対象	SES事業(国内エンジニア、既存顧客・取引先契約の継承)
譲受価格	62百万円（想定投資回収期間 3~4年）
支払条件	現金による決済
買収の狙い	今後の当社の競争力向上において優秀なエンジニア人材の採用や体制強化は最重要事項と認識しており、当社のDXソリューション事業における正社員を中心としたSES事業に加えて、ITフリーランスマッチングを中心とする同事業を加える事で、DXセグメントの事業規模拡大に寄与するなど、直接的なシナジー効果を期待しております。
その後の計画	DXセグメントにて受け入れ、事業の円滑な遂行と既存事業とのスムーズな移行を計画しています。



25年7月・8月実行 M&A案件(M&A仲介、オンライン診療)



社名	株式会社M&A DX（設立:2018年1月11日）
所在地	東京都港区海岸1-2-3 汐留芝離宮ビルディング 21階
代表者	牧田 彰俊
事業内容	M&A仲介事業
譲渡スキーム	発行済み株式数の20%を取得
譲受日	2025年7月8日
譲渡対象	発行済み株式数の20%
その後の計画	役員派遣を通じてガバナンス強化の施策を実行します。

社名	株式会社portera
所在地	大阪府大阪市北区曾根崎2-8-5 お初天神EAST BLDG 3F
代表者	片岡 和哉
事業内容	オンライン診療サービス「らく診」 医療機関向けコンサルティング事業
譲渡スキーム	事業譲渡(オンライン診療サービス「らく診」サービス)
譲受日	2025年8月5日

社名	株式会社フェアワーク
所在地	東京都中央区月島1-13-6 ウェルネス月島4階
代表者	吉田 健一
事業内容	パルスサーベイ事業、ストレスチェック事業、健康経営支援事業 らびに 医療情報サービス事業
スキーム	業務提携

グループエンジニア体制に57人が増加し、 プロジェクトフェニックスのエンジニア組織100名体制の目標を達成

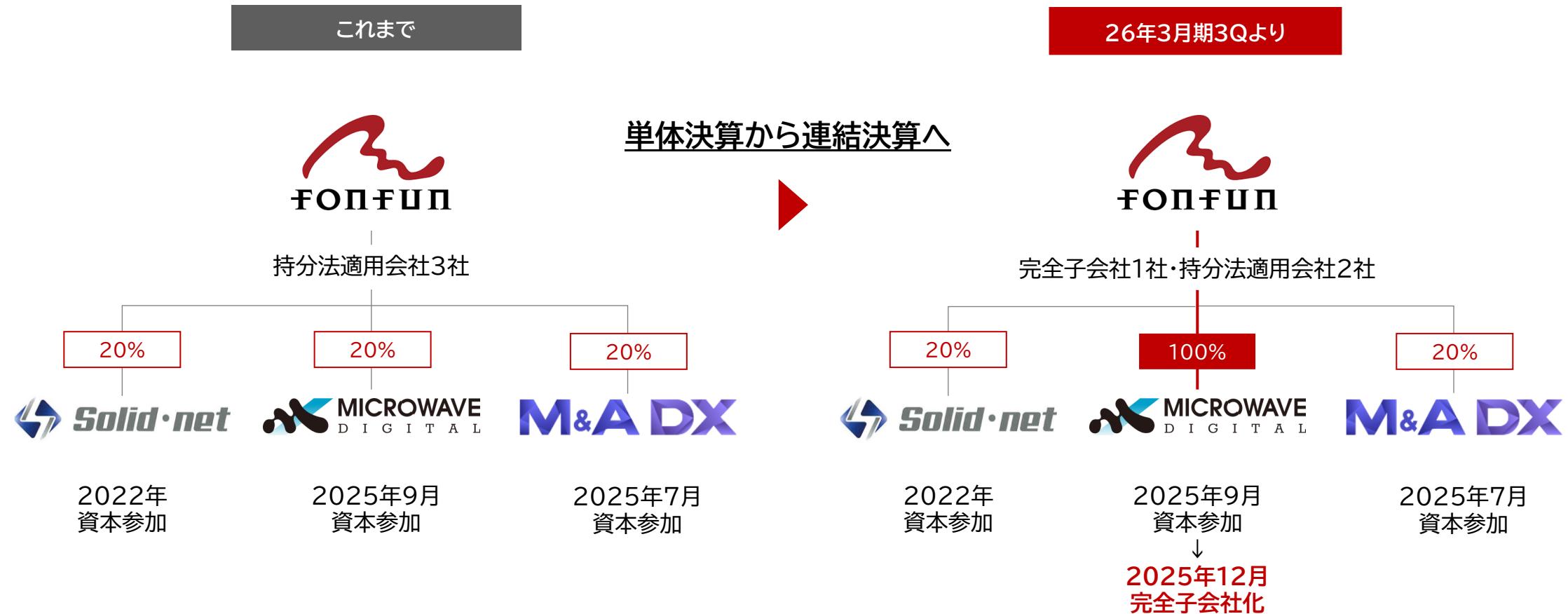
社名	株式会社マイクロウェーブデジタル（設立:2020年11月6日）
所在地	東京都渋谷区新南1丁目6-5 SHIBUYA WayP 10階
代表者	越智 洋平
事業内容	システム開発、デジタルマーケティング支援、エンジニアリングサービス
譲渡スキーム	発行済み株式数の80%を追加取得
譲受日	2025年9月22日(20%取得持分法適用会社化) 2025年12月1日(完全子会社化)
譲渡対象	発行済み株式数 20% 発行済み株式数 80%
買収の狙い	DXセグメントの事業規模拡大に寄与するなど、直接的なシナジー効果を期待しております。
備考	2025年9月に同社の20.00%の株式を取得(持分法適用会社化) 2025年12月に同社の80.00%の株式を追加取得(完全子会社化)



【 KPI 】

前期売上高	526 百万円
前期EBITDA	6 百万円
稼働エンジニア	57 人

マイクロウェーブデジタルを完全子会社化することで、単体決算から連結決算体制へ移行



M&A戦略 DXロールアップ(直近の実績)



M&A買収基準を「**黒字事業であること**」&「**投資回収期間が5年以内**」の2つの定義で設定し、のれん償却後でも営業利益の積み上げがあり、スピーディーに業績に反映される範囲で実行しています。

スケールアップ型収益

Gluecode

World in Freelance

ストック型収益

CallConnect

れすだぐ

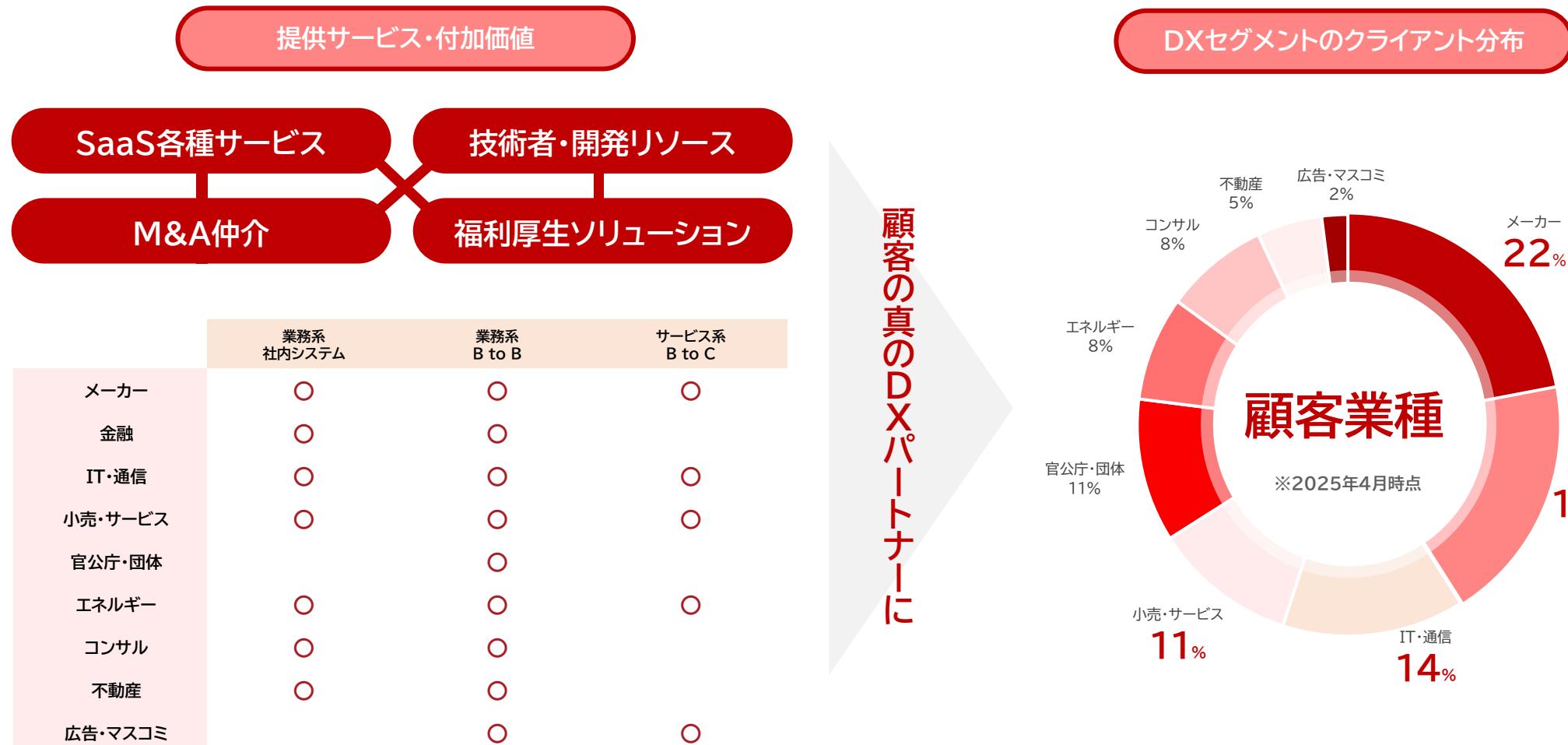
セグメント	DXソリューション	セグメント	DXソリューション	セグメント	クラウドソリューション	セグメント	クラウドソリューション
事業内容	DXエンジニア派遣	事業内容	ITフリーランスマッチング	事業内容	クラウド電話SaaS	事業内容	飲食向けクラウドサービス
売上規模	約400百万円	売上規模	約350百万円	売上規模	約200百万円	売上規模	約120百万円
調整後営業利益(EBITDA)	約70百万円	調整後営業利益(EBITDA)	約20百万円	調整後営業利益(EBITDA)	約89百万円	調整後営業利益(EBITDA)	約11百万円
のれん等償却後単体事業利益(※)	約3百万円	のれん等償却後単体事業利益(※)	約14百万円	のれん等償却後単体事業利益(※)	約33百万円	のれん等償却後単体事業利益(※)	約6百万円
エンジニア数	40名	エンジニア数	30名	エンジニア数	2名	エンジニア数	5名

※上記の内容は当社グループとして合併前の買収時計画から積算しているシミュレーション値となります。実際の詳細の業績については適時開示等の決算情報をご参照いただきますようお願いいたします。

M&A戦略 クロスセルによる提供価値の最大化



クラウドソリューションセグメント、DXソリューションセグメント顧客起点の強みを生かし、複数領域にまたがるソリューションをかけあわせ、提供価値を最大化



新中期経営計画と進捗について

- 1 26年3月期 第3四半期業績
- 2 M&A戦略 DXロールアップの進捗
- 3 新中期経営計画の進捗**
- 4 会社情報

新中期経営計画「プロジェクトフェニックス」の全目標を達成見込み

新中期経営計画
プロジェクトフェニックス

2026年3月期 目標

DXを中心とするテックカンパニーへ

組織

財務

事業・投資

エンジニア数

100人

時価総額

100億円

新規の中核事業の創出

連結売上 20億円
EBITDA 4億円

M&A実行により
100名達成！

2026年1月30日
100億円到達！

連結業績予想
達成見込

新中期経営計画 プロジェクトフェニックス発表後の取り組み

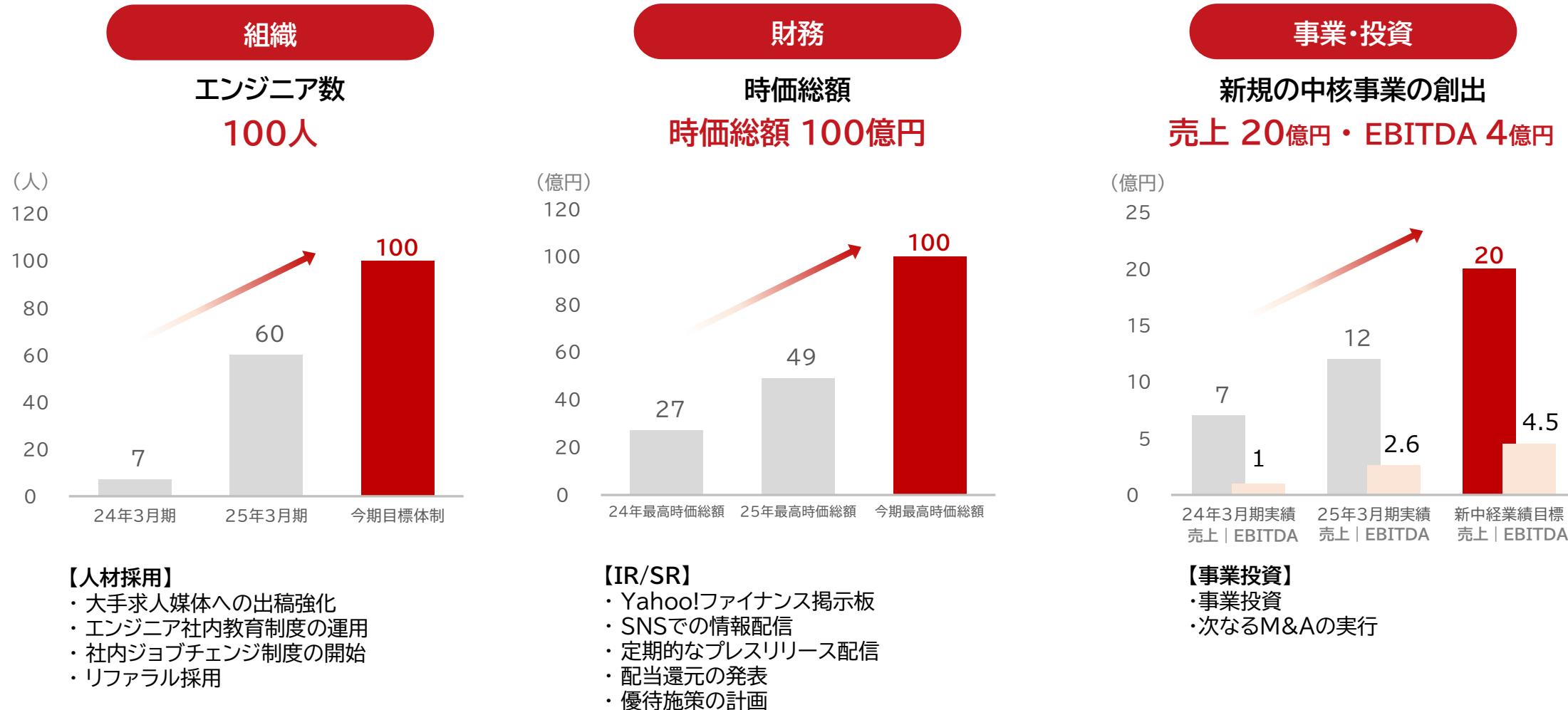


2023年度 (FY24/3)	06月	TOBによる体制変更
	08月	24年3月期 第1四半期開示
	09月	新中期経営計画 プロジェクトフェニックス発表
	11月	24年3月期 第2四半期開示 業績予想の下方修正の発表
	12月	取締役を対象として、時価総額100億円、営業利益1.2億円を達成条件とする新株予約権（ストックオプション）の発行
	12月	SMS送信事業の買収発表
2024年度 (FY25/3)	03月	ノーコード業務アプリ開発SaaS事業の買収発表
	05月	24年3月期 決算短信開示
	06月	合同会社selfree(CallConnect事業)の買収発表（みずほ銀行より479百万円の資金調達）
	07月	グルーコードコミュニケーションズ株式会社（エンジニアリングサービス事業）の買収発表（徳島大正銀行より400百万円の資金調達） 株式会社イー・クラウドサービス（飲食向け日次決算プラットフォーム事業）の買収発表 第三者割当増資の募集の発表（150百万円の資金調達）
	08月	25年3月期 第2四半期開示 業績予想の上方修正の発表
	09月	連結子会社3社の吸収合併
2025年度 (FY26/3)	12月	取引先持株会及び役員持株会設立ならびに従業員持株会の奨励金付与率引き上げに関するお知らせ
	12月	当社主要株主サイブリッジグループによる所有株式の当社従業員並びに子供達への無償譲渡について
	05月	SES事業(ITフリーランスマッチング)の買収発表
	07月	M&A仲介事業の株式会社M&A DXの持分法適用会社化の発表
	08月	オンライン診療プラットフォーム「らく診」を事業譲受、株式会社フェアワークとの業務提携を行い、新たな福利厚生ソリューション事業を開始
	09月	システム開発・SESを主事業とする株式会社マイクロウェーブデジタルの持分法適用会社化の発表 ※同年12月に完全子会社化

新中期経営計画の進捗の報告(25年3月末)



2026年3月期目標の新中期経営計画の現時点における進捗状況と計画達成に向けたアクションプラン



新中期経営計画の進捗状況

中長期的な企業価値及び株主価値向上の最大化を実現するために2023年9月に中期経営計画を策定しております。各戦略の現時点での進捗状況を簡単にご報告いたします。

戦略		進捗状況
i	事業ポートフォリオの強化	今期より以下、2セグメントにてそれぞれ事業ポートフォリオの強化を進めております。 ・クラウドソリューション事業(M&Aにより 5つの事業の拡充) ・DXソリューション事業(M&Aにより 4つの事業の拡充) ・ M&A仲介企業 を持分法適用会社化
ii	エンジニアの採用	M&Aによるアクハイアリング等の結果、約100名のエンジニア体制の実現 ・社内プロパーエンジニア数 約109名 体制 + パートナーエンジニア 約20名 体制
iii	M&A戦略	M&Aアクション進捗状況 ・案件ソーシング : 約 1,100件 超 ・クロージング : 9件
iv	財務戦略	プロジェクトフェニックスROAD-01において 1,029百万円 の調達完了 ROAD-02を見据えて次期財務戦略を再設計

M&Aのトラックレコード

企業・事業		事業概要	取引形態	時期	買収規模	売上規模	EBITDA	エンジニア数	セグメント	
1	i-Macss	 i-Macss Information-Multi Access Service System	SMS配信	事業譲受	24年2月	15百万円	約58百万円	約7百万円	--	クラウドソリューション
2	ゼロワン	 ZeroOne	ノーコード業務SaaS	事業譲受	24年4月	41百万円	約100百万円	約10百万円	1名	DXソリューション
3	合同会社selfree	 selfree	クラウド電話SaaS	持分100%	24年7月	450百万円	約200百万円	約89百万円	2名	クラウドソリューション
4	グルーコードコミュニケーションズ株式会社	 Gluecode	DXエンジニア派遣	株式100%	24年8月	600百万円	約400百万円	約70百万円	40名	DXソリューション
5	株式会社イー・クラウドサービス	 e-cloudservice	飲食向けクラウドサービス	株式100%	24年8月	50百万円	約120百万円	約11百万円	5名	クラウドソリューション
6	ワールドインフリーランス	 World in Freelance	SES事業	事業譲受	25年6月	62百万円	約346百万円	約14百万円	30名	DXソリューション
7	株式会社M&A DX	 M&A DX	M&A仲介事業	株式20%	25年7月	非開示	非開示	非開示	--	--
8	らく診	 らく診 オンライン診療サービス	オンライン診断	事業譲受	25年8月	非開示	非開示	非開示	--	クラウドソリューション
9	株式会社マイクロウェーブデジタル	 MICROWAVE DIGITAL	システム開発	株式20%→100%	25年9月→12月	非開示	非開示	非開示	56名	DXソリューション

企業価値向上によりダイリューションの影響を最小化する 資金調達を検討 融資、LBO等の活用

■ 財務方針

- 手元流動性比率引き下げにより **250百万円** 抛出
- 自己資本比率に合わせて増資と借入を実施
- 以上により、成長資金として **1,000百万円** の調達

■ 財務方針(実績)

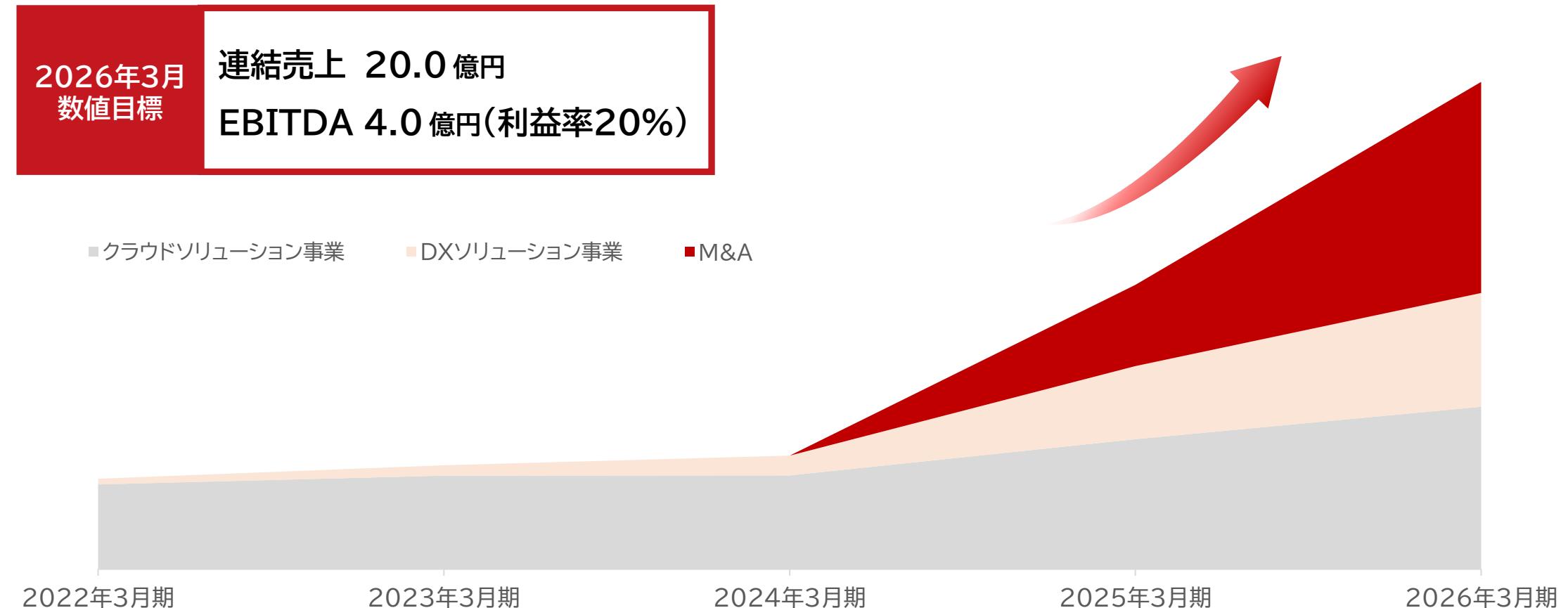
- M&A資金使途の借入 **879百万円** の融資実行
- 増資 **約150百万円** の割当の実施(24年8月)
- デット・エクイティ合計 **1,029百万円** の調達実績



新中期経営計画の達成イメージ

■ 既存事業の安定成長とM&Aによる非連続的な成長を実現

連結売上 20 億円へ



財務戦略(行使条件付き新株予約権の発行について)

新株予約権 行使条件サマリー

行使可能割合	時価総額達成条件	業績達成条件	行使期間
35%	時価総額 35億円 達成済	営業利益 1.2億円 達成済	5年間 当初2年間は行使不可
100%	時価総額 100億円	※達成予想となった為、前期より株式報酬の費用計上	

■ 新中期経営計画「プロジェクトフェニックス」の達成に向けて

2023年9月に策定した新中期経営計画「プロジェクトフェニックス」にて掲げました、時価総額100億円(1株当たり470円)の達成を行使条件に加えることで、経営陣による中期経営計画達成への意思をより明確にいたしました。

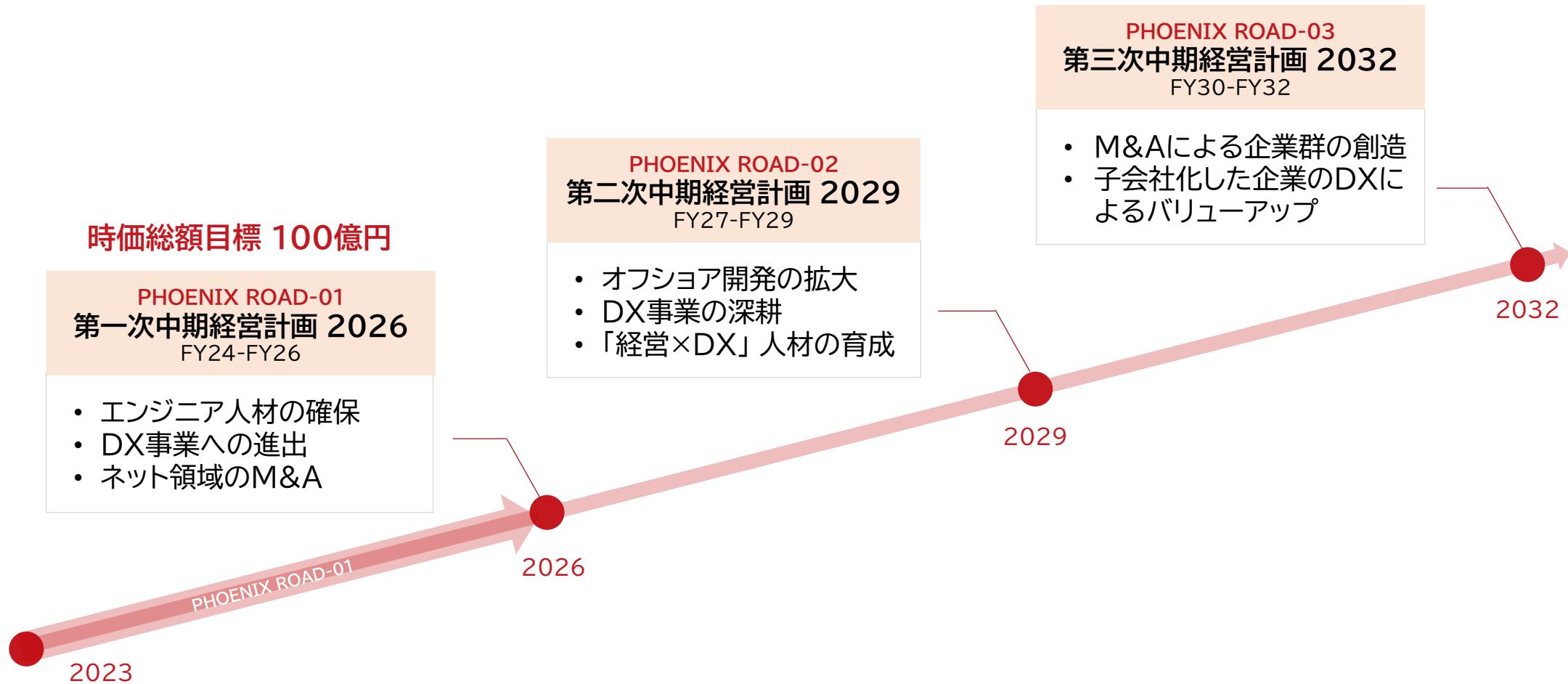
時価総額35億円は、流通株時価総額の上場維持基準に適合するための目安であり、通過点として早期に達成して参ります。

■ 代表取締役の役員報酬は引き続き2026年3月期も0円

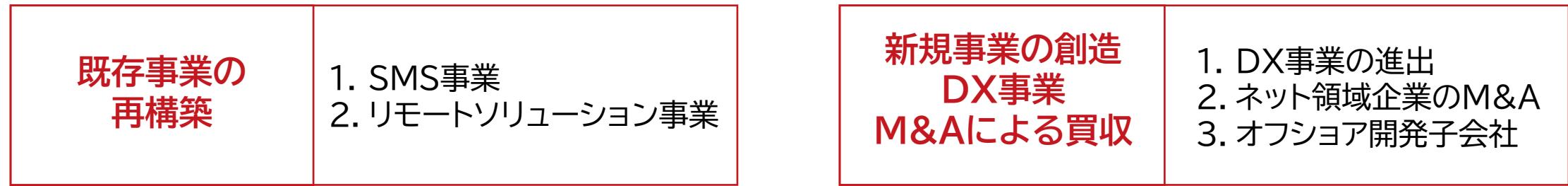
企業価値の向上こそが報酬となるとの考え方のもと、当社代表取締役の金銭的な定額報酬は0円としております。新中期経営計画で掲げた2026年目標に加え、本新株予約権の行使条件である時価総額100億円の達成に向けて事業拡大を推進して参ります。

※ 本新株予約権は終値で時価総額100億円を超えた場合に行使可能となっております。

自社のコアコンピタンスを「DX」と定義し 「DX」による付加価値最大化を実行可能な企業集団を目指す



「DX」の事業基盤構築に向け、エンジニア数を確保 テックカンパニーとしての基礎・中核となるDX事業の創出



DXを中心とするテックカンパニーへ

組織

財務

事業・投資

エンジニア数

100人

時価総額

時価総額 100億円

新規の中核事業の創出

連結売上 20億円
EBITDA 4億円

テックカンパニーの再興

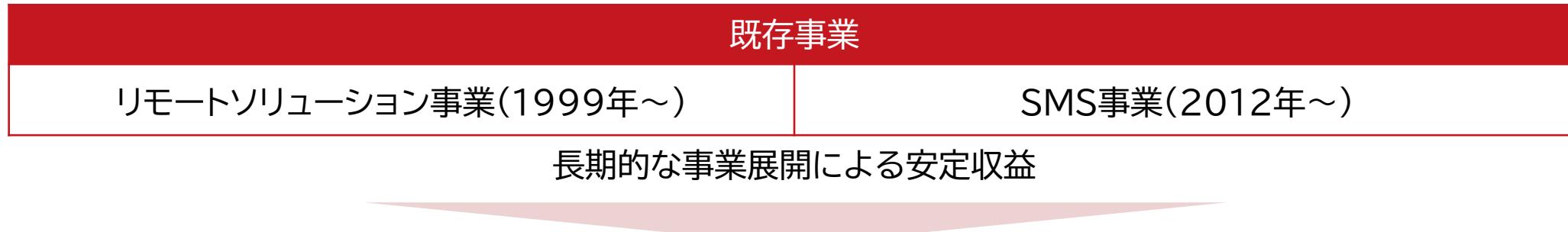
当社は、1999年にリモートソリューション事業「リモートメール」をサービス開始し、2002年に株式上場を果たしました。そして2012年には、SMS事業「fonfun SMS」をサービス開始することで成長し、その後の株式上場維持に長らく貢献をして参りました。しかしながらスマートデバイスの著しい変化、メッセージ配信サービスの厳しい価格競争などの市況感も相まって、両事業の将来な市場の急拡大は予見しづらい状況にあると深刻に捉えております。そこで当社ではテックカンパニーとして再興すべく、新たな重点施策を策定しました。

重点施策

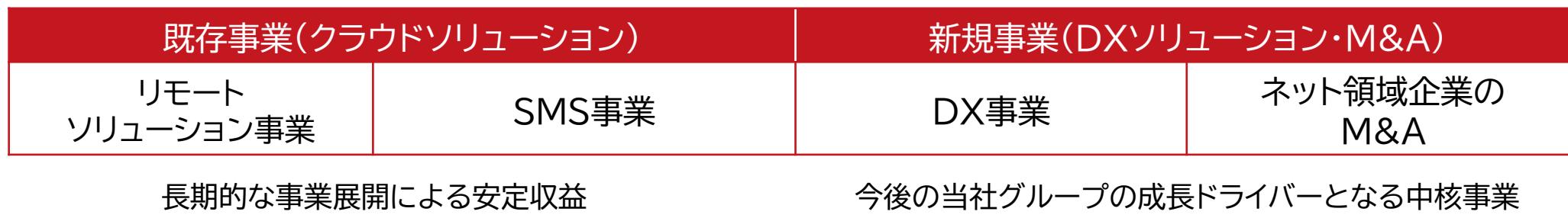
- 1 安定収益の確保 「SMS事業及びリモートソリューション事業の安定成長」
- 2 テックカンパニーへの進化
 - ・ セールス中心の組織からエンジニア中心の組織へ(エンジニア比率の拡大)
 - ・ DX事業への進出(ソフトウェア領域の売上比率の拡大)
 - ・ ネット領域企業のM&A(SMS事業の規模を超えるネット領域のサービス展開)

既存事業の安定成長と、 コア事業となるDX事業及びM&Aによる中核事業の創造

■ 現在の事業ポートフォリオ



■ 今後の事業ポートフォリオの強化(新規事業)



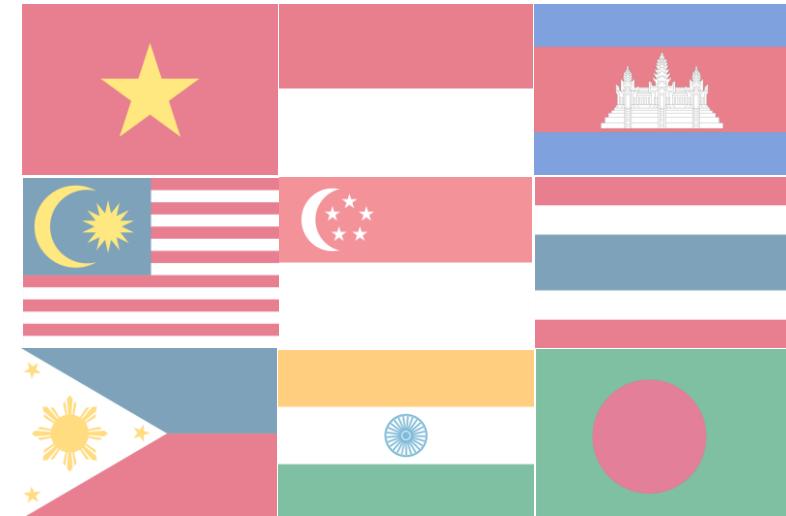
国内ソフトウェア開発会社及びオフショア開発企業の M&Aによるエンジニア人材の獲得

1 エンジニアの採用

現在、当社の全社員に占めるエンジニア比率は10%強となっておりますが、国内でのエンジニア採用を強化すると共に、アジアを中心とした海外オフショア開発へ進出し、2026年12月までに当社グループのエンジニア人数を100名とすることを目指します。

2 M&A・リスクリングによるエンジニア人材の獲得

1. 国内ソフトウェア開発会社・SES企業のM&A
2. 海外オフショア開発企業のM&A
3. リスクリングによるエンジニア育成



中核事業の創造・エンジニアの確保を主目的とするネット領域企業のM&A

対象案件	投資規模	業績規模
<p>新中期経営計画</p> <p>【注力領域】 DXロールアップ</p> <ul style="list-style-type: none">・上流 DXコンサル・DX・ソフトウェア開発関連(SES / オフショア)・SaaS事業 HRテック / フードテック / リーガルテック・BPaaS BPO系(会計、インフラ、セールス、コールセンター) <p>【模索領域】</p> <ul style="list-style-type: none">・AI / IoT領域・メディア事業(動画 / プラットフォーム)・eコマース / ゲーム / スマホアプリ	～20億円	売上規模 ～30億円前後 利益規模 ～5億円前後 ※黒字であること

※ M&Aは不適当合併等(実質的存続性を喪失する合併等)に該当しない事等を前提に、順次規模を拡大しながら実行してまいります。上表は2026中期経営計画の終盤を見据えた想定規模となります。

連結売上高 20億円、EBITDA 4億円、エンジニア人数 100名

	既存事業(クラウドソリューション)		新規事業(DXソリューション)	
	リモートソリューション 事業	SMS事業	DX事業	ネット領域企業の M&A
売上高	2億円	8億円	4億円	6億円
粗利益	1億円	3億円	1億円	2.5億円
EBITDA	0.8億円	1億円	0.7億円	1.5億円
エンジニア数	100名			

(2026年3月期連結での目標)

会社情報

- 1 26年3月期 第3四半期業績
- 2 M&A戦略 DXロールアップの進捗
- 3 新中期経営計画の進捗
- 4 会社情報

ミッション

テクノロジーで社会をもっとスマートに。

わたしたちは技術の力でより効率的で合理的な社会の実現を目指します。

ビジョン

新中期経営計画「プロジェクトフェニックス」

2026年3月期 目標

DXを中心とするテックカンパニーへ

組織

財務

事業・投資

エンジニア数

100人

時価総額

100億円

新規の中核事業の創出

連結売上 20億円
EBITDA 4億円

会社概要



会社名 株式会社fonfun(ファンファン 英語表記 fonfun corporation)

代表者 代表取締役社長 水口 翼

資本金 10,000千円 (2025年3月31日現在)

上場取引所 東京証券取引所 スタンダード市場 証券コード2323

役員構成	取締役	八田 修三	常勤監査役	鎌形 尚
	取締役	松井 都	監査役	高森 厚太郎
	社外取締役	緒方 健介	監査役	蓮尾 倫弘
	社外取締役	小柳 肇		
	社外取締役	古久保 武紀		

所在地 東京都渋谷区笹塚2-1-6 JMFビル笹塚01 6階

設立 1997年3月3日

従業員数 70名 (2025年3月31日現在)

事業内容 DXソリューション事業(ソフトウェア開発、技術派遣事業)、クラウドソリューション事業(SaaS・プロダクト事業)

X(旧Twitter)

公式アカウント

fonfun公式アカウントを運用しています。IRや事業の情報を配信しています。ご興味のある方はフォローお願いします。



@fonfun2323

会社沿革

1997年	東京都新宿区にネットビレッジ株式会社を資本金3億円で設立 日本高速通信株式会社(現 KDDI)と業務提携	2011年	「リモートメール」スマートフォン向けにサービスを提供開始
1998年	本店を東京都新宿区から東京都八王子市に移転 通産省(現 経済産業省)より特定新規事業認定取得	2012年	株式会社FunFusionを完全子会社化
1999年	東京都より中小企業創造法に基づく認定取得 NTTドコモ「iモード」向けに「リモートメール」サービス開始 IDO(現 KDDI)「Ezaccess」対応サービス開始	2014年	本店を東京都杉並区から東京都渋谷区に移転 株式会社e-エントリーの全株式を取得し子会社化
2000年	「リモートメール」事業海外展開のため、香港現地法人、米国現地法人を設立 DDIグループ(現 KDDI)「EZweb」対応サービス開始	2015年	株式会社アドバンティブ(当社連結子会社)を設立
2001年	「リモートメール法人サービス」提供開始	2018年	株式会社ミスター・フュージョンよりメディア事業を譲受 株式会社e-エントリーの全株式売却
2002年	大阪証券取引所ナスダック・ジャパン(現東京証券取引所スタンダード市場)に上場(証券コード:2323)	2019年	株式会社武蔵野よりISP事業、ボイスメール事業を譲受 株式会社アドバンティブの全株式売却
2003年	ボーダフォン(現 ソフトバンク)「Vodafone live！」対応サービス開始	2020年	資本金を1億円に減資
2004年	中国現地法人「上海網村信息技術有限公司」(当社連結子会社)を設立 本店を東京都八王子市から東京都新宿区に移転	2022年	株式会社ソリッド・ネットに資本参加 東京証券取引所の市場区分の見直しにより、東証スタンダード市場に移行 ケイビーカンパニー株式会社よりSMS事業を譲受
2005年	本店を東京都新宿区から東京都渋谷区に移転 NVソフト株式会社(当社連結子会社)を設立 株式交換により株式会社ウォーターワンテレマーケティング、株式会社エンコード・ジャパン、株式会社グローバル・コミュニケーション・インクを完全子会社化	経営体制変更	株式会社FunFusionを吸収合併 TOBによりサイブルッジ合同会社の子会社となる 代表取締役社長に水口 翼が就任
2006年	中国現地法人「合肥網村信息技術有限公司」(当社連結子会社)を設立 株式会社エンコード・ジャパンを吸收合併 ネットビレッジ株式会社から株式会社fonfunへ社名変更	2023年	新中期経営計画「プロジェクトフェニックス」を発表 代表取締役・取締役に時価総額・営業利益目標の行使条件付き有償SOを発行 SMS事業のブランド名称を「バンソウSMS」に変更 株式会社クロノスよりSMS送信事業を譲受
2009年	本店を東京都渋谷区から東京都杉並区に移転 光通信グループとの合弁会社 株式会社FunFusionを設立	2024年	株式会社ゼロワンよりノーコード業務アプリ開発SaaS事業を譲受 合同会社selfreeを完全子会社化 グローコードコミュニケーションズ株式会社を完全子会社化 株式会社イー・クラウドサービスを完全子会社化(2024年9月本体へ吸収合併) 資本金を1.74億円に増資
		2025年	1株につき2株の割合で株式分割 資本金を10,000千円に減資 インバウンドテクノロジー株式会社よりSES事業(ITフリーランスマッチング)を譲受 株式会社M&A DXに資本参加 オンライン診療プラットフォームらく診 事業の開始 株式会社マイクロウェーブデジタルを完全子会社化

よくある質問と回答

Q 新中期経営計画(プロジェクトフェニックス)は、達成できますか？ M&A 累計9件実施

A 既存事業の安定成長に加え、新規事業、並びにM&Aを通じて非連続な成長を図り、達成を目指します。

Q 東証スタンダード市場の上場維持基準に満たない状況になったらどうなりますか？ 26年1月30日達成

A 上場維持基準の達成は当社にとっての必達目標であります。時価総額100億円に向けて株価を意識した経営を実行いたします。株価推移や流通株式時価総額の状況を踏まえ、必要な場合には引き続き当社株式の流通が可能な他の取引所への重複上場を検討します。

Q 株主還元策(配当政策)についてはどのように考えていますか？

A 2025年1月21日付、配当政策の変更し、事業規模の拡大や収益力強化に向けた投資を優先する方針とさせていただきました。しかしながら、利益を積み重ね、分配可能額を確保できる見込みとなったこと、並びに長く当社を見守っていただいている株主の皆様へ還元することを目的に、2025年3月期末に記念配当の実施をしました。また自己株式の消却についても検討します。

創業来初配当

Q 単元未満株の株主が多いようですが、なぜでしょうか？ 買取継続推進中

A 過去の株式併合の影響により単元未満株主が多い状況です。多くの株主が議決権行使可能となるよう買取推進や株式分割も検討します。

Q 国際会計基準(IFRS)への移行を考えていますか？ 分割を2度実施

A 現時点では、国内投資家中心の株主構成である状況や、M&Aや経理・開示実務の機動性を担保することを考慮し、当面は、日本会計基準の採用を続ける予定です。

Q 新中期経営計画の「プロジェクトフェニックス」の由来は？

A 当社の社名fonfunの由来のひとつが「鳳凰」の中国語読みです。英訳するとフェニックスでありプロジェクト名として採用しました。

お知らせ オンライン決算説明会の開催



オンライン決算説明会を実施します(2/17 火曜日 19:00予定)

2026年2月13日開示の2026年3月期第3四半期の決算概要についてご説明します。



<https://www.fonfun.co.jp/ir/presentation/>

1

X(旧Twitter) 公式アカウント

@fonfun2323

リモートメールのお知らせアカウントとして利用していたXアカウントをfonfun
公式アカウントとして運用しております。IRや事業のお知らせなどをお届けします。



2

IR用のnoteアカウントを開設、note IRマガジン

IRや事業のお知らせなどをお届けします。

<https://note.com/fonfun2323>



3

次回の決算開示は2026年5月15日(金曜日)予定です

通期決算を開示予定です。

Phoenix, fly high!



株主と共に飛躍する銘柄へ

【注意事項】本資料における、将来の予想については、当社が把握しうるかぎりの情報をもとにしておりますが、今後の環境の変化等により、予想と異なる結果になることがあります。本資料をもとに意思決定を行った結果について、当社は一切の責任を負いません。ご了承ください。